

# 第67回日本レコード大賞 優秀作品賞 分析・大賞予測レポ ート

各種データに基づく多角的評価と展望

発行日: 2025年12月30日

発行元: 音楽市場分析部

# 目次

## 1. はじめに

## 2. 第67回日本レコード大賞 優秀作品賞ノミネート楽曲一覧

## 3. 分析の枠組みと主要データソース

## 4. 主要データに基づくノミネート楽曲のパフォーマンス分析

4.1. 総合指標：Billboard Japan Hot 100 年間チャート

4.2. デジタル指標：ストリーミング・ダウンロード

4.3. 大衆性指標：カラオケランキング

4.4. 関心度指標：歌詞閲覧数

4.5. 個別楽曲パフォーマンス概観

## 5. 選定基準に基づく総合評価

5.1. 商業的成功度

5.2. 大衆性・親しみやすさ

5.3. 音楽的完成度と社会的影響力

## 6. 結論：2025年日本レコード大賞 大賞予測

6.1. 最有力候補：Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」

6.2. 対抗・ダークホース

6.3. 最終見解

## 7. 免責事項

## 1. はじめに

本レポートは、2025年12月30日に発表される「第67回日本レコード大賞」において、最高栄誉である「大賞」の候補となる「優秀作品賞」にノミネートされた10楽曲を対象に、多角的な分析を行うものである。日本レコード大賞は、その年の日本の音楽シーンを象徴する最も権威ある賞の一つであり、大賞の行方は国民的な関心事となっている。

本分析では、日本レコード大賞の選定基準である「大衆性」「芸術性」「独創性」などを鑑み、それらを客観的に評価するための代理指標として、CD売上、デジタル配信（ダウンロード・ストリーミング）、カラオケランキング、歌詞閲覧数など、公表されている多様なデータを活用する。これらのデータを統合的に分析し、各楽曲が2025年を通じて社会に与えたインパクトを定量・定性の両面から評価し、最終的な大賞受賞楽曲を予測することを目的とする。

## 2. 第67回日本レコード大賞 優秀作品賞ノミネート楽曲一覧

2025年の「優秀作品賞」には、多様なジャンルとキャリアを持つアーティストによる以下の10曲が選出された。

楽曲名	アーティスト名
Almond Chocolate	ILLIT
イイじゃん	M!LK
かがみ	FRUITS ZIPPER
革命道中 – On The Way	アイナ・ジ・エンド
恋風	幾田りら
ダーリン	Mrs. GREEN APPLE
倍倍FIGHT!	CANDY TUNE
Fun! Fun! Fun!	新浜レオン
二人だけの秘密	純烈
夢中	BE:FIRST

### 3. 分析の枠組みと主要データソース

大賞の選定は、作曲、編曲、作詩を通じて、芸術性、独創性、企画性に優れ、かつ大衆の強い支持を得た作品に贈られる。この基準に基づき、本レポートでは以下の4つの評価軸を設定した。

- 商業的成功度：**フィジカル（CD）およびデジタル（ダウンロード）の売上。楽曲が商品としてどれだけ市場に受け入れられたかを示す。
- 大衆性・浸透度：**ストリーミング再生回数、カラオケ歌唱回数、SNSでの共有数など。楽曲が日常生活の中でどれだけ広く、深く浸透したかを示す。
- 音楽的関心度：**歌詞の閲覧数やメディアでのレビューなど。リスナーが楽曲のメッセージや音楽性そのものにどれだけ関心を寄せたかを示す。
- 社会的影響力：**各種チャートの総合順位、メディア露出、タイアップ効果など。楽曲がその年を代表する一曲として社会に与えたインパクトの大きさを示す。

分析にあたり、以下の主要データソースを参照した。なお、一部データはリクエストタイムアウトにより取得できなかったものも含まれるが、現存するデータから総合

的に判断する。

- **総合チャート**：Billboard Japan Hot 100
- **セールス**：オリコン年間ランキング、Billboard JAPAN Top Singles Sales
- **デジタル配信**：Billboard JAPAN Streaming Songs, Download Songs、レコチョク年間ランキング、Apple Music/Spotify年間チャート
- **カラオケ**：DAM年間カラオケリクエストランキング、JOYSOUNDカラオケ年間ランキング
- **その他**：歌詞サイト「歌ネット」年間総合歌詞ランキング、JASRAC使用料分配額ランキング

## 4. 主要データに基づくノミネート楽曲のパフォーマンス分析

各データソースから得られた情報を基に、ノミネート楽曲の2025年におけるパフォーマンスを具体的に分析する。

### 4.1. 総合指標：Billboard Japan Hot 100 年間チャート

Billboard Japan Hot 100は、CDセールス、ダウンロード、ストリーミング、ラジオ、ルックアップ、Twitter、動画再生、カラオケの8指標を合算した総合ソングチャートであり、楽曲の社会的なヒットの度合いを最も的確に表す指標である。2025年の年間チャートにおける各楽曲の順位は以下の通りである。

順位	楽曲名	アーティスト名	特記事項
2位	ダーリン	Mrs. GREEN APPLE	同アーティストの「ライラック」が1位。年間TOP2を独占。
28位	夢中	BE:FIRST	安定した上位人気を維持。
35位	革命道中 - On The Way	アイナ・ジ・ エンド	ソロアーティストとして高い評価を獲得。
49位	倍倍FIGHT!	CANDY TUNE	新人グループながらTOP50入りを果たす。
56位	恋風	幾田りら	YOASOBIのikuraとしても活躍。
77位	Almond Chocolate	ILLIT	グローバルな人気を背景にランクイン。
圏外	イイじゃん (M!LK), かがみ (FRUITS ZIPPER), Fun! Fun! Fun! (新浜レオン), 二人だけの秘密 (純烈)		

この結果から、Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」が他のノミネート楽曲を圧倒する総合的な支持を得ていることが明確にわかる。BE:FIRST「夢中」も年間を通じて高い人気を維持しており、強力な候補であることが示唆される。

## 4.2. デジタル指標：ストリーミング・ダウンロード

現代のヒットの鍵を握るストリーミングとダウンロードの成績は、特に若年層からの支持と楽曲の日常的な消費度を測る上で重要である。

- **Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」**は、Billboard JAPAN Streaming Songs of the Year 2025で年間2位を記録。Apple Musicの「2025年トップソング100：日本」でも5位にランクインしており、ストリーミング市場での圧倒的な強さを示している。
- **BE:FIRST「夢中」**もストリーミングで安定した再生数を記録し、Hot 100での高順位を支える要因となっている。
- **CANDY TUNE「倍倍FIGHT!」**は、Apple Musicの年間チャートで75位に入り、特にデジタルネイティブ世代からの支持が厚いことがうかがえる。

- ILLIT「Almond Chocolate」は、レコチョクが提供する「RecTV Powered by レコチョクランキング」で4位に入るなど、ミュージックビデオを含めたデジタルコンテンツでの強さを見せている。

これらのデータは、Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」がデジタルプラットフォームにおいて、他の候補曲に対して大きなアドバンテージを持っていることを裏付けている。

#### 4.3. 大衆性指標：カラオケランキング

カラオケランキングは、楽曲が世代を超えて親しまれ、能動的に楽しまれているかを示すバロメーターである。DAMおよびJOYSOUNDの年間ランキングでは、以下の傾向が見られた。

楽曲名	アーティスト名	DAM年間(総合)	JOYSOUND年間(総合)	特記事項
ダーリン	Mrs. GREEN APPLE	9位	16位	DAMの「今年発売楽曲」部門では1位を獲得。
その他	他のノミネート楽曲は、両ランキングの総合TOP20圏外。			

特筆すべきは、Mrs. GREEN APPLEの強さである。同アーティストは「ライラック」が両ランキングで1位を獲得しており、「ダーリン」もTOP20にランクイン。アーティストとしてカラオケシーンを席卷している。この事実は、「ダーリン」が単なる聴取にとどまらず、多くの人々によって「歌われる」国民的ヒット曲としての地位を確立していることを示している。

#### 4.4. 関心度指標：歌詞閲覧数

歌詞サイト「歌ネット」の2025年年間総合歌詞ランキングでは、アーティスト別ランキングでMrs. GREEN APPLEが1位を獲得した。これは、リスナーが彼らの楽曲のメロディやサウンドだけでなく、歌詞に込められたメッセージ性にも強く惹きつけられていることを物語っている。「ダーリン」の持つ普遍的なテーマが、多くの人々の共感呼んだ結果と推察される。

## 4.5. 個別楽曲パフォーマンス概観

---

- **Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」** : 全ての指標でトップクラス。商業的成功、大衆性、関心度の全てを兼ね備える。
- **BE:FIRST「夢中」** : 総合チャートで高い位置を維持。コアなファン層とライト層双方からの支持が強い。
- **CANDY TUNE「倍倍FIGHT!」** : 新人ながらデジタル領域で健闘。若年層への訴求力が高い。
- **アイナ・ジ・エンド「革命道中 - On The Way」** : 音楽ファンからの評価が高く、総合チャートでも存在感を示す。
- **幾田りら「恋風」、ILLIT「Almond Chocolate」** : 特定のプラットフォームや層で強みを見せるが、総合的な広がりでは一步譲る。
- **M!LK、FRUITS ZIPPER、新浜レオン、純烈** : 主要年間チャートでの上位ランクインは見られず、大賞レースにおいては厳しい状況。

## 5. 選定基準に基づく総合評価

収集したデータを基に、「商業的成功度」「大衆性・親しみやすさ」「音楽的完成度と社会的影響力」の3つの観点から各楽曲を総合的に評価する。

### 5.1. 商業的成功度

---

Billboard Japan Hot 100で年間2位という成績は、CDセールス、ダウンロード、ストリーミングといった複数の商業指標が極めて高いレベルで均衡していることを示す。特にストリーミングでの圧倒的な再生回数は、現代の音楽市場における最大の成功要因であり、**Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」**がこの点で群を抜いている。他の楽曲も各々の分野で成功を収めているが、「ダーリン」の規模感には及ばない。

### 5.2. 大衆性・親しみやすさ

---

カラオケランキングの結果は、大衆性・親しみやすさを測る上で決定的な意味を持つ。**Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」**が、今年発売された楽曲の中で最も歌われた曲（DAM調べ）であるという事実は、この曲が専門家や熱心なファンだけでなく、ごく普通の人々の生活にまで浸透した「2025年の歌」であることを証明している。**BE:FIRST「夢中」**も高い人気を誇るが、「ダーリン」の浸透度は一段上にあると評価できる。



### 5.3. 音楽的完成度と社会的影響力

Mrs. GREEN APPLEは、その高い音楽性とキャッチーなメロディで、幅広い層から支持を集める稀有なアーティストである。「ダーリン」もその例に漏れず、巧みな楽曲構成と共感と呼ぶ歌詞が高い評価を受けている。年間チャートの1位・2位を独占したという事実は、2025年の音楽シーンが彼らを中心に動いていたことを示す強力な証拠であり、その社会的影響力は計り知れない。アイナ・ジ・エンドや幾田りらの作品も芸術性の面で高く評価されるが、社会全体を巻き込むムーブメントという観点では、「ダーリン」が突出している。

## 6. 結論：2025年日本レコード大賞 大賞予測

以上の多角的な分析に基づき、第67回日本レコード大賞の「大賞」受賞楽曲を予測する。

### 6.1. 最有力候補：Mrs. GREEN APPLE「ダーリン」

結論として、Mrs. GREEN APPLEの「ダーリン」が2025年日本レコード大賞を受賞する可能性が極めて高いと予測する。

その根拠は以下の5点に集約される。

- 圧倒的な商業的成功と総合力：**Billboard Japan Hot 100年間2位という成績が示す通り、セールス、デジタル、カラオケなど、あらゆる指標で他の候補を凌駕している。
- 幅広い世代への浸透：**ストリーミングでの若年層からの支持と、カラオケでの中高年層を含む幅広い世代からの支持を両立している。
- 楽曲の普遍性とクオリティ：**親しみやすいメロディと共感性の高い歌詞は、レコード大賞の基準である「芸術性」と「大衆性」を高いレベルで満たしている。
- 2025年を象徴する社会的インパクト：**年間チャートのトップを独占した事実は、彼らが今年の音楽シーンの顔であったことを物語っており、大賞に最もふさわしい「今年の歌」としての説得力を持つ。
- アーティストの勢い：**バンドとしての活動全体が社会現象化しており、その勢いが楽曲の評価をさらに後押ししている。

## 6.2. 対抗・ダークホース

---

- **対抗馬：BE:FIRST「夢中」**

年間を通じて安定した人気を誇り、特にパフォーマンスの質の高さとファンダムの熱量は特筆に値する。もし審査において「アーティストの成長性」や「パフォーマンスの独創性」がより重視された場合、受賞の可能性は十分にある。しかし、各種データの規模感で「ダーリン」に一步及ばない点が対抗馬評価の理由である。

- **ダークホース：CANDY TUNE「倍倍FIGHT!」**

新人グループでありながら、デジタルチャートを中心に大きな存在感を示した。TikTokなどのSNSを起点としたバイラルヒットは現代のヒットの形を象徴しており、「企画性」「独創性」の観点から高く評価される可能性がある。サプライズ選出があるとすれば、最も可能性を秘めた一曲と言える。

## 6.3. 最終見解

---

対抗馬やダークホースの健闘も評価されるべきであるが、2025年の音楽市場におけるMrs. GREEN APPLE「ダーリン」の達成した成果は、客観的データを見る限り、歴史的とも言えるレベルにある。過去のレコード大賞の傾向を鑑みても、これほど明確な「今年の顔」と言える楽曲が存在する場合、順当に大賞を受賞するケースが多い。

したがって、本レポートは、第67回日本レコード大賞は、Mrs. GREEN APPLEの「ダーリン」が受賞するという結論に至る。

## 7. 免責事項

---

本レポートは、公表されている各種データを基に独自の分析と解釈を加えたものであり、特定の受賞結果を保証するものではありません。分析には、参照した「成果物ファイル`summary.md` (バージョン: v1)」に含まれる情報を主に使用しており、データの取得タイミングや網羅性には限界がある可能性があります。最終的な受賞結果は、日本作曲家協会による審査委員会の厳正な審査によって決定されます。